

2004年4月20日課題

第1回レポート「翻訳機能を使った複数の通信社の記事の比較」

まず、Googleで「ロイター通信」と検索し、<http://www.reuters.com/>のトップページをexciteのウェブページ翻訳で翻訳した。

その中から北朝鮮の列車事故についての記事を選び、再び翻訳した。

それによると

「ソウル/DANDONG(中国)(ロイター)-、北朝鮮のA破滅的なレール爆発が多くの子供を含む少なくとも154人を死傷させた、と中国の新華社通信は救助高官を引用して言いました。」

というように意味がわかりづらいものだったが、おおまかに言うと76人の生徒を含む154人が死亡し1300人以上が負傷したということ。北朝鮮の州通信社報告書によると化学肥料および「タンク・ワゴン」を運ぶ列車の転路の間に、突風が生じたということ。事故の様子。中国が緊急救済として120万ドルを支援すること。米国の支援表示、国連機関や赤十字が早くも木曜日に支援し始めたことなどが述べられていた。

また、一部引用してみると、

「私は、キム・ジョンイルの暗殺試みに関する任意の共謀を信じません」とVollertsenが言いました。「しかし、私は、出来事のこのコンピネーションが何かを作成するだろうと信じます、何か、旧ソ連で起こったことが好きである。」

というように、テロであるという可能性は低いと見られていることがわかる。最後の文の「好きである」は原文ではlikeとなっており、これは「好き」ではなく「~のような」という意味だと思われる。ここからも翻訳機能の実用性が低いことがわかる。

興味深かったのはアメリカに注釈として

「有害なことの軸」の中でイランおよび前戦争イラクと北朝鮮を一括し、平壤の核プログラムに関する行き詰まり?中の主要な主唱者である(以上翻訳文引用)

とあったところである。

次にgoogleで「海外の通信社」と検索したところ金融ナビゲーションサイトのiFinance-ニュースリンク集(<http://www.ifinance.ne.jp/link/news.htm>)がヒットした。その中からフランスのAgence France Presseという通信社を選択した。

その中で同じく北朝鮮の列車事故の記事を翻訳すると、死者154人負傷者1300人が出たこと。人的事故によって引き起こされたこと、死者の中に76人の子どもが含まれることや事故の様子、各国が支援を申し出たことなどロイター通信と同じことをいい、北朝鮮は「核兵器プログラムに関する緊張した行き詰まりにもかかわらず国際社会に支援のその提示および悔やみのメッセージを感謝しました。」と述べた。

また、北朝鮮が当初事件を隠蔽しようとしたこと、しかし北朝鮮の貧困事情やレールは

ほとんどの必需品を移動させるただ一つの方法だったことなどから、各国の支援を受け入れざるを得なかったのだらうと述べている。

二つの記事を比べてみても違いはほとんどない。Agence France Presseの方は書かれていないが、基本的な情報は中国の新華社通信から得たのではないかと推測できる。これは日本の通信社も新華社通信を情報源としているためである。

ただ、ロイター通信の方が詳しいことと、アメリカに対して何か含むところがあるように思われたところが異なっていた。

また、翻訳機能は大変使いにくく、何とか意味が推測できたことは日本でも報道されているニュースだからであって、まるで知らないニュースだったら何を言いたいのかほとんどわからなかったと思う。それがわかっただけでも今回の収穫だらう。

#### 講評

1. ファイル名の付け方：指示通り
2. レポートの形式：ほぼ指示通りですが、ホームページの「レポート形式例」の記載順序、記載位置とは少々ずれています。
3. レポートの内容：ほぼ指示通り。考察も今回のレポートではこの程度でOKです。
4. レポートの記述方法：読み手にとって文字列を順を追っていく必要があり、少々読みにくい。内容を区分し、節を意識すること。節の heading を考え、順番に番号をふること。そうするとレポートの全体像がより明白になり、読みやすくなると思います。教員にもよりますが。

成績： 8点